

「事業所向け放課後等デイサービス自己評価表」について

1. 重症心身障害児者多機能型児童発達支援 放課後等デイサービス（定員 6 名）
 管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、児童指導員・保育士・看護師 5 名（常勤 4 名、パート 1 名）
2. 職員向け評価表令和 5 年 7 月実施 5 名
3. 事業所全体による自己評価令和 5 年 10 月実施
4. 「はい」「いいえ」は回答実数。（質問項目により無回答含む）。
 改善点、工夫点については記載のままの内容です。

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和 5 年 12 月 20 日

事業所名 延岡こども発達支援センターさくら園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	・定員が 6 名になってからは、スペース確保ができるようになった。 ・長期休みの時はバギーと荷物で部屋が狭く活動しにくいいため、もう少し余裕のあるスペースになってほしい。	
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2	(未記入 1) ・排泄介助に対し、同性介助を謳っているが、男性職員 1 名では無理がある。	・利用定数は 6 名ですが、令和 4 年度平均利用数 (2.6 名) です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			・入口のスロープ、雨天時のためのカーポート設置 (2 ヶ所)。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		(未記入 1) ・計画、実行はできていても、評価、分析に時間を使えていない。	・すべての計画・実施・評価等は、職員会等で実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			・ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・できるだけ研修に参加させている。
適切な支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		・保護者より児の状態や支援の希望を聞き取り、計画に取り入れている。	

	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		(未記入1) ・保育に関しては専門分野が異なるため情報がほしいが、状況把握に難している。	・多機能型事業所として、幼児、児童、成人の利用者に対応できるよう配慮している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・職員全員で話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・SNS ツールなど利用して、新しい活動内容を取り入れている。 ・主任を中心に職員で話し合いをもっている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			・週案、月案等設置し支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		・担当だけではなく、職員皆で現状を共有している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		・白板に掲示し、わかりやすくしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		(未記入1)	・利用者全員の支援記録、1日の利用まとめについて全員で確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			・利用状況日誌は、保護者に毎日渡している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		・担当がきまっており、他職員の協力もあり、見直しができている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		(未記入1) ・看護師の参加が必要と思う。	・基本的には児童発達支援管理責任者が出会っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4		(未記入1) ・母親を介して、必要な情報などを把握している。 ・全て主任がまかっているが、全体の職員会議などで情報を共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4		(未記入1) ・病院等では主治医との連絡体制はないが、通院などでの保護者との連絡	

					調整は出来ている。	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			(未記入1) ・主任、相談員が行っている。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5				・生活介護事業所へ移行する場合は情報を共有している。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1			
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5			・同じ敷地内に児童クラブがあり、西小の児童クラブの子ども達とのふれあい。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		(未記入1)	・子ども部会、医療的ケア部会、相談部会等に参加している。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・お迎え時等にお伝えしている。	・毎日利用した時は、支援記録を保護者に渡している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			(未記入1) ・専門的なこととなるので、言葉に注意しながらも困っている保護者には話をしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		(未記入1)	・利用契約時に重要事項説明書などで説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			・相談を受けた時は保護者の話を傾聴して対応している。必要時、相談員に相談する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3		・保護者説明会を年1回4月に実施。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			・毎月保護者に、翌月の計画、活動状況を発信している。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			・正規、パート職員全員に個人情報守秘義務の文書をとっている。

	36	障がいのある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		(未記入1) ・津波の避難訓練では、地域の高台に避難している。	・コロナが落ち着いたら、地域を巻き込んだ夏祭りを実施したい。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		(未記入1)	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・火災については毎月実施。 津波、洪水は年1回実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			・事業所内で実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			・個別支援計画に記載し、身体拘束の同意書をとっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			